
タオル1枚でしちゃえば、
ベッドイン
男女の友情100%不成立説
1
霜也
Shimoya

タオル1枚で
ベッドインしちゃえば、
男女の友情100%不成立説

第　1　話


キーンコーンカーンコーン
青修
それ私めっちゃ美味しくて…
宮下！
？
菊池くん
今日部活ないんだろ？
カラオケでも行こうぜ～
今日は家の手伝いするって約束しちゃったしなぁ～…
んー
あはは


そんなこと言わずにさぁ
ゴメンね～
…あ
千秋～！
…？
ぎゅっ
ぼ
一緒に帰ろっ♪
うわっ!?
ふにゅ♡
あんまくっつくなよ!!
いこいこ
別に～
わい
わい
あのふたりホントに仲いいよなぁ
腐れ縁ってヤツでしょ
ちろっ♂
九条くんって冴えないカンジだし
蓮ちゃんには似合わないよね
ぴくんっ
あはっ

悪かったな

冴えないヤツで…

千秋

ん

今日もお前のお陰で橘と帰れるぜ

すいっ

…

別に…

サンキュー♡

お前ももっと積極的に宮下にアピールしろよ？

どきっ

!!

わかってるよ…

宮下 蓮（みやした れん）―

彼女は俺の幼馴染でありクラスの人気者だ

そうなんだ～

あはよっ

昔のよしみでこんな『冴えない』俺にも相変わらず構ってくれているが…

確かに蓮にとっては腐れ縁だろう

でも

俺にとっては―


ねぇ千秋
え
それ一口ちょうだい！
バカ…！
だから俺は
コイツがいつか誰かのモノになってしまうのが
相変わらずデリカシーないよなお前は!!
たまらなく怖いんだ…
おーおー妬けるねおふたりさん
—ところでおふたりとも
今度の連休空いてますか？
実は—


わい
スキー場なんて
いつぶりだろ…
わい
―後日
ふー
うちの経営する
スキー場のチケットが
余ったから…なんて
橘さん家って
ホントにお金持ち
なんだなぁ…
HOTEL 雪の華
しかもあの
高級ホテルまで
タダで泊まれると
きたー
みなさん
ご一緒に
どうですか？
行く～♥
キャっ
キャっ
慎也もすごい人に
惚れてるよなぁ…
おっ
トヤ！
橘さん！俺が
教えてあげるよ！
1時間後…
ケロッ
橘さん
私達 このまま
最上級コースに
行ってきますね♡
プロか何か
でしたか…？
頑張れ
慎也…


さて
俺は
のんびり
滑るか…
シャアアア
千秋――ッ
ドーン
わっ!?
…んなっ
ぴっ
ドキ!!
ぷにっ
蓮!?
ごめんっ
やっぱスノボって
難しいなぁ～…
ぷにっ
平気？
痛くなかった？
ドン
キッ
ちょっ…!!
かあぁっ
平気
だから
その…
ドキ
早く離れて
くれ…
あれ～？
もしかして
私にくっつかれて
恥ずかしいの？
くすっ
千秋の
くせに～
ドン
キッ
ッ


ばバッカじゃねーの!!
お前の貧相なカラダなんか興味ねーし!!
ぷくぅ
そーですかッ!
プン
もう千秋なんて知らなーい!
プイッ
しるっ


夜ー
HO
カラッ
もう
千秋ったら…
貧相で悪かったわね…
ふー…


ね～
聞いてよ早織～
ってもう寝てる…
。。
もう～
愚痴りたかったのに～ッ
くー
くー
あれ…私…
貧相なのかな…
ぺた
ぺた
ぽ
…
いん
！
ピンポーン
お客様いらっしゃいますでしょうか～
あっ
はーいっ


はーいっ
ガチャ
ルームサービスです
え
ご注文のワインをお持ちいたしました～
ワイン…？
あの
たぶん部屋を間違えてると思います…
本当ですか…!?
しっ
ペコ
ペコ
失礼致しましたっ！
ずっ
ガシャ
ガーン
キャーッ!!
ごめんなさいッ～!!
あわわっ
手伝いますっ！


ありがとうございました～
はめわ
よし
部屋に戻ろ…
って…
はっ
あれ…？
オートロックで
ウソ…
サアアア…
締め出された…?!
ガチャ
ガチャ


早織ッ
ドン
ドンッ
早織ー!!
早織～!!
すや
すや
ピンポーン
ピンポーン
ドンドン
う～っ
どうしよう…
お前…
!!
びくっ
はっ
何やってんだよ…
千秋…!!
よかったぁいまね…
すっ

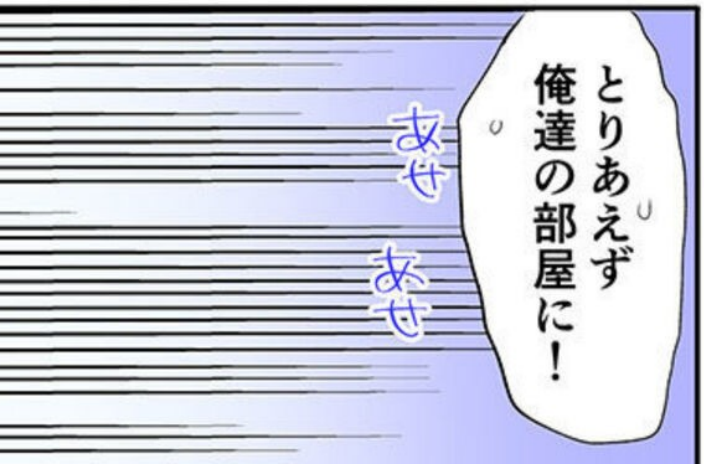

…!!
ひゃ…
しゅ
る
はらりっ…
ぴくっ
かあ
あっ
ひゃあぁ！
すっ
!!
ぷるん♥
ひぎっ♥
なっ…
ブル
な…
ちょっ
ブル
そんなに見ないでよっ!!
…
ゴクリ…


あはは
私の貧相なカラダなんてどうでもいいっか！
お前なぁ!!
いい加減にしろよっ!!
!!


通りかかったのが俺じゃなくて悪い奴だったらどーするんだ!?
少しは自覚を…


な?!
だって…
私ホントにわざとじゃ…


泣くなよバカッ！
だからその…あの…


とりあえず俺達の部屋に！


ホントにお前は危機感ってのが足りてないよな…
何か着せられそうな服は…
ガチャ
ぐすん
どうせ私はガサツな女ですよーだ…
ボソ…
バカ…
むっ
…あのなぁ！
俺は…


お前の事を心配してー
ガチャガチャ
ただいま～
ヤバイ
慎也が帰ってきた…!?
いや～
やっぱ酒は売ってくんなかったわ～
とりあえず夜食だけ買ってきたぜ
って
あり？
なんだよ千秋もう寝ちまったのか～？


まぁいっかお
てか
もうこんな時間だったのか
くわぁ…
0:13
…
もぞ…
俺も寝るかぁ
な…
はぁ
ドキ
きゅっ…
…
ドキ
なんで…
はぁ


ちょっと
千秋…!?
なんで
隠れるのよ!?
……なんだよ
へ…?
ドキ
ちゅっ
んっ?!
ちゅる
ん
ン〜ッ
ッ
——ッ
ちゅぷ
ぷはっ…


お前のカラダを
アイツに見られるのが嫌なんだよッ!!
ドキ
はぁ
はぁ
ドキ
!!
あっ…!?
ぼ
プルッ
もみっ
やっ…
びくっ
あ
きゅっ
んぅ…
びくっ
ちょ
千秋…
びくっ


ひゃ…
ッ…
蓮のカラダ…
熱い…
はぁ
ぴくっ
ぷにっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
?!
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ


アッ
ッ
もぞ
もぞ
はぁ
待って
そこっ…！
ドキ
ドキ
だめぇ…
ッ～…！
にゅぷ
ぷぷっ
くちゅ
くちゅ
…ふぅ…！


こんなのダメなのに
あ
はっ
ちゅっ
ぴくっ
ぷちゅ
ぷちゅ
はひっ
ぴくんっ
ちゅ
はー
だめっ
だめぇ…
お腹の奥がきゅうんって…
はっ
ぴくっ
はっ
ヘンになりそう…
きゅんっ
きゅっ♡
蓮…
はー
はーっ
ちゅ
ッ
ちゅ
ぴくっ
んーっ
ビキ
ビキ
ンッ
きゅ…


ぷは…
はー
ドキ
ふぁ…
ふ
ちゅるっ
ん～…
キュ…
ぴくっ
ギッ
ギッシッ
～～ッ
ぴくっ
ぴくっ
ちゅるっ
ちゅるっ
ン


あっ…
はぁ…ん…
ッ
ち…あき…
私…もう…
はっ
はー
ぱっ
ぱっ
ぱっ


さっきから
モゾモゾ…
もぞ
ズ
ッ
千秋～？
何やって
んだぁ…？
ぼけ…
ドキ
はー
はー
千秋～？
ギッ…
ドキ
もぞっ

タオル1枚で
ベッドインしちゃえば、
男女の友情100%不成立説(1)

著者　霜也
発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。


タオル1枚でベッドインしちゃえば、男女の友情100%不成立説
2
霜也
Shimoya

タオル1枚で
ベッドインしちゃえば、
男女の友情100%不成立説

第　2　話


千秋
何やってんだ～…？
はぁ
ドキ
…
はぁ
ドキ
…ん～…
もぞ…
ムニャ…
ぐー
ぐー
ね…寝言…？
ドキ
はー
はー
ドキ
!?
びくっ
やっ…ウソ!?
びっ
すん
はー
すんっ
蓮…


いいニオイ…
そこはっ…!
ダメェ…
あッ
ひぅ
ンッ
ひんッ


ッ
ガク
はーっ
ビクッ
はっ♡
ビクッ
きゅっ
ビクッ
はーっ
ウソ…
私…
はーっ
きゅんっ
キュンキュン♡
はーっ
千秋にイカされちゃった…
はーっ
ビクッン
ガチャ
ペた
フロントでスペアキー借りられて良かったけど…
ペた
ちら
…


寝てる…
まさか千秋に
あんなエッチなことされちゃうなんて…
ドキ
ドキ
もぞ…
もぞ…
頭真っ白になって
ヘンな声いっぱい聞かれちゃった…
ふる
ふる
う～ッ
ね
眠れないよ～！
ドキ
ドキ
次の日―
初級コース


ふーっ…
ザリ
アアアアッ
だいぶうまくなったじゃん…
ザァアアッ
！
まぁ蓮は元々運動神経いいし
当然っちゃ当然か…
くそ
まともに顔が見れない…
あ
ありがと…！
ッ！
ドキッ


次はあっちいこうよ！
おう…
あらあら
どき
どき
こうやって見てると
ふたりは恋人同士みたいですねぇ
！
ってことは俺たちも…
ぼっ
？
アッ
かあっ
なっ
なんでもないです！
ブン
ブン
ふたりともそろそろホテルに戻りましょう～
あ
はーいっ！




ブロ


んが…
…
すー
すー
ぐぉ～
ぐぉ～
くそ…
気になって
眠れない…！
チラッ
ドキ
すぅ
すぅ
ドキ
昨日の蓮の
表情が
チラついて
すぅ
ドキ
すぅ
ヤバイ
ドキ
ムラムラ
して…


ダメだダメだ
落ち着け俺ッ！
ブンッ
ブル…
ん…
ゴォー
ビクッ
ドド
!?
ぽすっ
ずる
キッ
ムニャ
ちょっ…!!
…
これは…
千秋…
もぞ
ちらっ♡


…
ドキ
ゴソ
すっ
ドキ
周りはみんな寝てる…
くいっ
ぷるっ
ドキ
ドキ
ポルン
はーっ
はーっ
ちょっとくらいなら…
くりっ…
ふにゅ
ぴと
ン
…
うぅッ
ドキ
そんなエロい顔するなよっ…
…
ぴくっ
もみ
ドキ
…ん

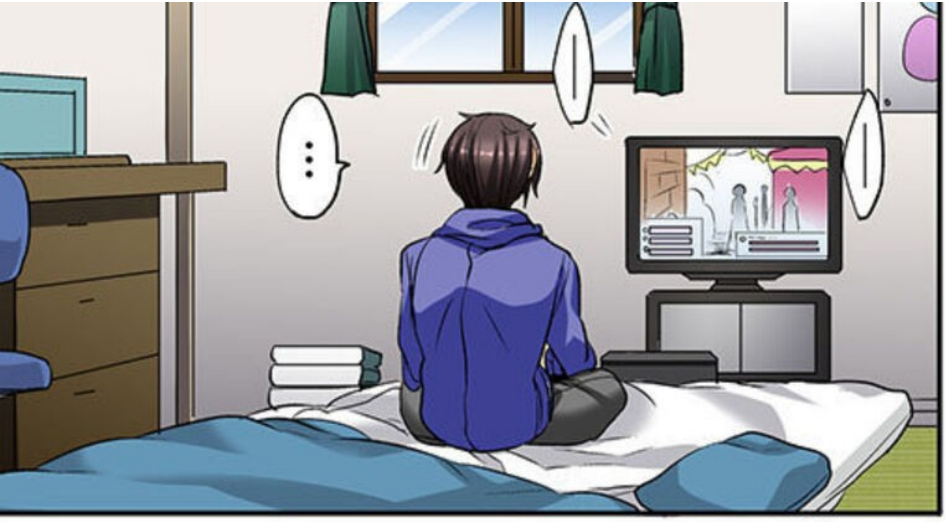

ブロロ…
ガタン
もぞ…
ガタン
あ
びく
はー
ちゅ
れろ
はー
れろっ
びくっ
…？
ん…
はー
レロッ
レロ
びくんっ
はっ
ふー
ちゅう
ふっ
ちゅ

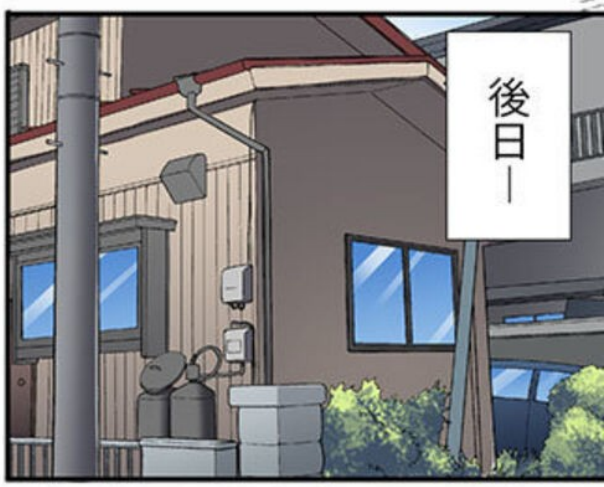

へ!?
はあ
ひくっ
なに…?
はっ
ッ
もみっ
千秋!?
ン…!
ぱっ
なにやって…
やっ
やめ…
はっ
はっ
はっ
はっ
ハサ
あ
はーっ
はりくっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
だめぇ…!
ッ
カ
トひくっ
ぱふぁ…


ッ！
ちゅ
ぷっ
声出したら
周りの人に
気づかれちゃう…
ン
ふっ
ッ
だめぇ…
ちゅるっ
ちゅ～っ
身体中が
熱い…
ひ
はーっ
ちゅぱ…
はっ
あんッ


ッ
はーっ
ドキ
蓮が…
ドキ
はーっ
ドキ
はーっ
蓮が無防備だから悪いんだぞ…！
ふぇ…
ドキ
はーっ
!?
ぐにっ
なんか…当たって
びくっ
!!
はっ
はーっ
フルンッ
ドキ
ドキ…
ぷるんっ
ドキ
これっ…
まさか…
あ
びくっ
もみっ
びくっ


お休み中に
大変失礼致します
プシューッ
当バスは只今
サービスエリアに
到着致しました
発車は15分後を
予定しております
ピッ
!!
ワッ
あ…
ドキ
お俺…
なにやって…
ドキ
ッごめん
ヒラッ
俺…
トイレ！
あ…
はぁ
ドキ
…ッ
はぁ
ドキ
ドキ
かぁあっ
…


…


後日―


学校サボってなにやってんだろ俺…


勢いとはいえあんなことして
どんな顔して蓮と話せばいいんだよ…


うわぁダメだ思い出すとまた!!

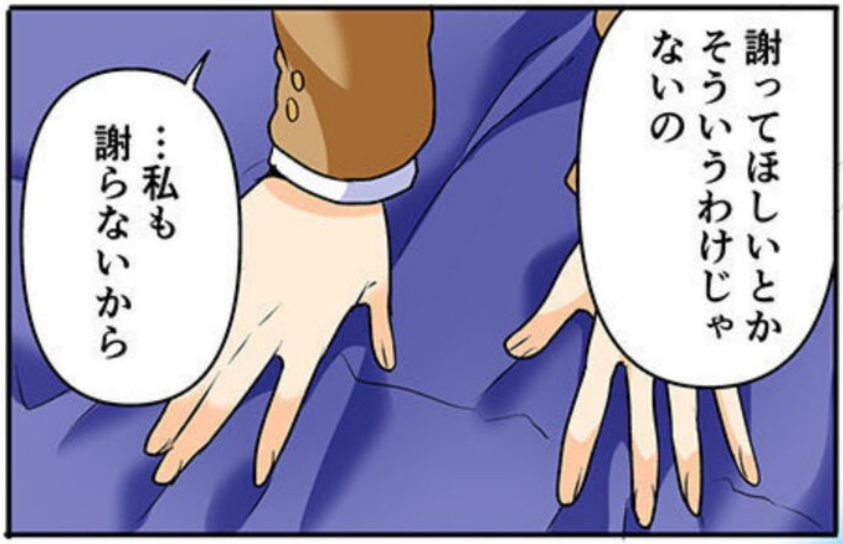



千秋
起きてる?
え


!!
やほ～
蓮!?
なんで…
今日の分のノートだよ
はい
あのあのあのあの
どうも…
ニヤキ
あれ…
いつも通りの蓮だ…
ニヤキ
入ってくるならノックくらいしろよなっ
たたく
ぽかっ
なによ
恥ずかしがっちゃって～
にゃ
筋肉痛で動けなくて学校サボリだなんて
いつも家でゲームばっかりしてるからだよ？
うるせーッ
にゃ
用が済んだなら早く…
？

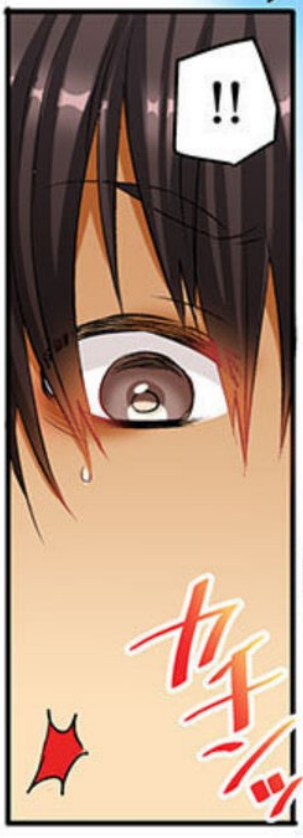

私が…
ぺたんっ
マッサージ
したげる!!
ぴくっ!!
は!?
そのまま
うつぶせ
てね～
ぐぐっ
ちょ
いいって…!
部活で慣れてるから
平気平気♪
そういう
問題じゃ…!!
エンリョ
しな～い!
ウッ
ぴくっ
ぐりぐりっ
だらっ
蓮のヤツ
だらっ
なに考え
てんだ…


…
千秋
私…この前のこと
気にしてないよ
…
ドキ
ドキ
ぐい
ぐいっ


謝ってほしいとか
そういうわけじゃ
ないの
…私も
謝らないから


私が鈍感だから
気を付けないと
ああいうこと
されちゃうぞって
教えてくれたんでしょ…?
!?
ドキッ


お互いに…
忘れる…?


!!
カチンッ


だから
その…
あのことは
お互いに
忘れよ…?


ドン
サッ
…
え…？
ダメだ
千秋…？
ドキ…
ああいうことってー
俺また
止められなく
なってる…
こういうこと？
きゃ!?
ぴらっ
ずいっ
やだっ
千秋!?
すっ
きゅ…
ンッ
ぷるんっ
むにっ


もっ…
やめてよぉ…
ンぅ…
ぎゅ
ぎゅっ
やっ…！
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
はぁッ
だめっ
だめ…！
だってばぁ…！


はぅ…
やだやだ
言ってる
わりには…
あ
ン
ココ
スゴイことに
なってるけど？
――ッ
ぷちゅ
ぷちゅ
トロけ…
…っ
…蓮
次は


ここも
!?
マッサージしてよ
ドキッ
びくっ
やっ…なにこれ
あ…
すごく熱い…
ビキッ
びくんっ
そのままじっとしていて…
ドキ
はぁ
ビクッ
…ッ
もぞ…
——ッ
しゅ
しゅっ
かぁあっ
おちんちんってこんなに固くなるんだ…
ッ
びくり…
蓮…こっち
あぅ…
はぁ
ぉあ
ひく


どうすれば
いいの…？
舐めて
みて
…！
うん…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
すり…
ぴくっ
ぺろっ…
ぴくっ
はぁ
はぁ
はぁ
ン
ッ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
もみっ
ぺろッ
…ッ
ふーっ
ちゅるっ…
ふっ
…
はー
んっ
むにっ…
んっ
はーっ
ぷるっ
ーーーッ!!
ビクッ


ちょっ！
舐めちゃだめぇ…！
ちゅぱっ
ちゅぱっ
はっ
はっ
ひくっ
ビクッ
はぁ…ん
だめぇ…
じゅるっ
じゅるっ
ガクッ
ガクッ
プルッ
アッひ…
じゅるっ
じゅるっ
ん――ッ!!
ブルッ
ブルッ
れろ
れろ
れろっ

タオル1枚で
ベッドインしちゃえば、
男女の友情100%不成立説(2)

著者　霜也
発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。